

オンライン筆記試験と会場筆記試験の違いに関する注意

(1) オンライン実施の筆記試験への参加が認められた者には、事前の接続リハーサルを設定する場合がある。接続リハーサルに参加しない場合には受験資格を失うので、必ず参加すること。一般教育科目の接続リハーサルについては「令和5(2023)年度東京大学大学院情報理工学系研究科一教育科目(数学またはプログラミング) オンライン試験心得」を参照すること。その他の接続リハーサルについては、各専攻の入試案内書を参照すること。

(2) 公平性確保及び不正防止の観点から、オンラインでの筆記試験には以下の制限があるので注意すること。

- 1) 解答時間中はトイレ・体調不良であっても一時退室はできないので注意すること。退室後の対応は試験科目ごとに定める。一般教育科目の解答時間中に退室する場合、その時点までの答案を提出の上の退室となり、以後、その時間帯の筆記試験の終了まで再入室はできない。各専攻の専門科目における対応については、各専攻の書類を確認のこと。
- 2) 各試験には解答開始時刻前の入室限度時刻が定められ、その限度時刻後の遅刻入室は一切許可されないので注意すること。
- 3) すべてのオンライン筆記試験の様子は録画され、オンライン筆記での試験解答状況及び解答内容について、専攻の口述試験時に改めてのチェックを行う場合がある。また録画等により不正が発見された場合は、合格発表後であっても入学資格を取り消すことがある。